



株式会社古川 代表取締役社長
古川 剛士 (ふるかわ つよし)

1973年生まれ。出身地小田原。明治大学卒。1997年富士銀行(現・みずほ銀行)入行。2004年株式会社古川入社。2011年代表取締役社長に就任。趣味、旅行・フットサル観戦。妻と娘3人の5人家族。



小田原市防災協定 締結に向けて 「スクラム対談」

O&F

Think local energy.



小田原ガス株式会社 取締役社長
原 正樹 (はら まさき)

1971年小田原生まれ。駒澤大学経済学部卒。2014年小田原ガス株式会社取締役社長に就任。妻と1男1女の4人家族、栄町在住。



現在、今後の小田原市の防災の中核を担うであろう重要な防災協定が協議されている。その内容は、なんと、今までライバル企業であった小田原ガスグループと、プロパンガスの株式会社古川の民間二社が、合同で市の防災力強化のために協力し合い行政との連携をはかる、統括的な防災協定になる予定だ。来る、平成29年4月のガスの自由化を前に、まさにラグビーのスクラムのようにガッチリと地域の防災協定を結ぼうとしている両社の若きトップが、その思いを語り合う。



古川

今日はよろしくお願いします。

こちらこそよろしくお願いします。今日は、いま協議している小田原市と我々との防災協定についてですが、そもそも、なんで我々二社が組むんだという質問が非常に多い。我々は、元々お互いにこの地域で100年以上地域の安心安全を見守ってきた企業なわけです。



古川

ただ、今まではライバルでしたし(笑)防災に対しても各社で取り組んでましたからね。今回の小田原市との防災協定は、簡単に言うと災害があったときに何を市に提供するかという話なんですけど、例えば応急物資でいえば移動式ガス発生設備や液化石油ガスなんかはもちろんですけど、うちは水も扱っていて飲料水プラントがありますから飲料水の確保と宅配ルート、あとは我々の持つる被災感知のセンサーで得られる情報なんかもそうですね。さらにその先の話でいうと、我々が一番やっていくのは現場に入って自治会さんとの連携や、小学校への巡回講習などを通して防災に対する啓蒙活動など、まさに色々あると思うんですね。

防災に関しては各自やっていたことではあるんですけど、それをこれからはきちんと協定という枠組みの中で行政含め三者で共有して防災に対する連携を強化して対応していきましょうということですね。緊急出動体制や、災害復旧活動の協力体制として特に有事の際にお互いが持っている情報を共有するメリットは大きいですね。



古川

小田原市の要請で避難所とかが出来た時に、どこどこは古川いけ、どこどこは小田原ガスがいけみたいな、より効率化を考えたシステム構築の協議もこれからつめていく必要がありますね。

3.11のあとに、夜に静岡で(地震が)あって……。



古川

思い出しますね。震度5以上になると弊社も緊急対策本部をつくるんですが、そういう国のルールってお互いにあるんですね。震度5以上になったら情報収集と、それぞれ何をチェックするのか決まっています。小田原市内でも揺れが違わないですか、そういった情報を共有して、じゃあどこを優先して行くかとか市と一緒にやっていくことになりますよね。いや、今でもやっぱり地震があると、緊張しますよ。「まず行かなきゃいけない」って。あと火災



原

ですね。サイレン鳴ったら、もうすぐ消防に連絡してどこで火事か火災情報を確認します。普段から。

うちは消防署から自動的に連絡が来ます。



古川

プロパンは各社持ち回りなんです。だけど、お客さんの家が燃えていなくても、隣がそうかも知れないから、屋間は必ずうちもサイレン鳴らして出動しますね。

そういうの、あまり知られてないですね。静かに皆様の暮らしを影から見守ってっていうのがガスマンの美学なんですよ(笑)



古川

(笑)小田原ガスさんも、緊急体制とかすごいですけど、あたり前のこととしてやっていたというか。

震度5以上の地震発生時は自動出社。30分で7割以上の社員が出社する体制が確立されています。災害はきちんと国とも連携して速報など全部情報を上げますし、そうやって共有する体制っていうのはできてるんですよ。もちろん、その都度行政とも連絡を取り合ってるんですけど、ただそれを統括する協定そのものがなかった。だからそれをちゃんと形にしようという。そしてきちんと市民の方にも知っておいていただく。



古川

そうですね、やってる体制をね。

それは、商売って言う観点だけではなくて、きちっとお客様の暮らしを守ってきましたし、陰ながらも見守ってきました(笑)、それはガスの自由化が始まって、大手が参入してきたとしても我々が力を合わせてやりますと。それが我々二社の歴史がもたらした、地域への最大の付加価値だし、ガスの自由化というタイミングを契機に、そこに価値を置いて、きちんと協定という形を結び、これからは防災という観点でも一緒に地域と暮らしを守るということをやっていきますよ。



古川

もちろん我々も小田原に住んでいますし、社員も二社合わせて200名以上いると思いますが、ほとんどこの地域で暮らしていますから、そういう意味でも地域に密着した防災をやっていききたいですね。

二社合同 電力自由化セミナー 小田原ガス株式会社・株式会社古川

参加自由 場所：エコリア ダイナシティ店 **ecolia** 小田原ガス ショールーム

日時：2月21日(日) 11時～ / 14時～ 3月19日(土) 11時～ / 14時～

お問い合わせ 小田原ガスショールームエコリア ダイナシティ店 TEL.0465-46-0777

O&F
Think local energy.